

<p>【キャッチフレーズ】</p>  <p>笑顔・花・命</p>	<p>奄美市立大川小・中学校</p> <p>学校だより大川</p>	<p>【校訓】</p> <p>勉学・協力・根性</p>  <p>令和元年 9月 20日発行</p>
---	-----------------------------------	--

「優勝は目標だけれど、目的ではない！」

校長 前田浩之

この言葉は前任の古仁屋中学校で、3年担任の一人が生徒たちに諭すように話していた言葉です。「目の前の勝利に目がくらみ、学校行事の本来の目的である『クラスの和』や『友情を深める』ことを見失ってはいけない。」勝ちたくて勝ちたくて、一部の生徒が時間外にも練習するなど、暴走しがちな中学生に、そう釘を刺していたのです。

学校行事が成功だったかどうかは、当日では無く、学校行事終了後に明らかになります。クラスがまとまったのか、それとも分裂したのか、子どもたちが行事後の学校生活に前向きに取り組めるか。だから、職員にはこう話していました。「学校行事を係任せにするのではなく、全職員で取り組む。行事への取組を通して生徒を成長させる。そこが、学習塾と学校の違いです。」

二学期がスタートしました。運動会や文化祭など行事が多く、学校の持つエネルギーを校外に示す学期です。「～新・信・進～ 仲間を信じて突っ走れ 新しい時代のスタートだ！」をスローガンに、15日に行われた秋季大運動会。小学校1・2年生の短距離走は、ハンディキャップレースでした。全員に1番になるチャンスが与えられていました。子どもたちはゴールテープを真っ先に切ることを目指し、一生懸命に走ります。誰が一番だったかではなく、みんなが一生懸命に走ったことに価値があるのです。小学1年生から中学3年まで、全校生徒が走る「紅白対抗全員リレー」も、誰一人力を抜くことなく、最後まで走り切りました。だから、閉会式で「お互いによく頑張った。」と拍手を贈ることができるのだと感じています。小学校・中学校応援団の演舞も見事でした。「みんなをまとめるのは大変だったけれど、サポートがあったのでやりきることができました。みんなありがとう。」感謝の気持ちを素直に述べる事ができる小学生団長の言葉に、大きな成長の跡を見ることができました。



朝の水抜き作業は大川小中学校秋季運動会の恒例行事だそうです。全校児童生徒、保護者、教職員全員で行ったグラウンド整備。「子どもたちが安全に、楽しく競技できるように！」手際よく作業される姿に、PTAの子どもたちへの愛情とまとまりも感じるところです。おかげで、トラックで転倒する子どもは一人もいませんでした。足下の悪い中、たくさんの会員の方々が来ていただいた「八・六会」の皆様への感謝の気持ちも忘れてはいけません。大川の校区にしかない「にわとり・卵」は、大川小中学校出身であることの証明にもなります。将来同窓会で、校歌とともに「にわとり・卵」を歌い踊ることができたら、それは素敵な同窓会になることでしょう。

紙面を借りて、秋季大運動会に協力いただいた関係各方面に感謝したいと思います。来月27日には文化祭を行います。子どもたちの「輝き」を見に来てください。

夏休み後半～子どもたちの様子

ひかり議会



子ども会球技大会



鹿児島大学吹奏楽部演奏会



稲刈り



第72回秋季大運動会



「全員リレー」のスタート



小学校「大玉ころがし」



中学校新種目
「俵運搬リレー」



恒例の綱引き

準備から片付けまで、ご協力ありがとうございました。

9月後半～10月前半 主な行事予定	
9/22(日)	市内中学校体育大会 小湊敬老会
9/29(日)	小湊小運動会
10/ 1(火)	全校朝会 (中) 中間テスト～2日
10/ 3(木)	地区中学駅伝
10/ 7(月)	西田地区びっこさらっこ
10/ 9(水)	生徒会役員選挙・立会演説会
10/12(土)	土曜授業 シマグチ・シマ唄学習